

## 2025 年度業務実績報告書

提出日 2026 年 1 月 9 日

1. 職名・氏名 教授・久米真代

2. 学位 学位 博士、専門分野 看護学、授与機関 石川県立看護大学大学院、  
授与年 2017 年

## 3. 教育活動

|                                                                                                                                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1)講義・演習・実験・実習                                                                                                                                                                                                    |
| ①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等<br>成人・老年看護学概論（1 単位）2 年前期                                                                                                                                                                     |
| ②内容・ねらい<br>老年看護を初めて学ぶ科目であるため、高齢者の身体と心、社会の中での高齢者に関心をもてるようにする内容である。成人との違いを考えられるようにしている。                                                                                                                             |
| ③講義・演習・実験・実習運営上の工夫<br>視覚・聴覚・運動器の加齢変化を経験するため、高齢者疑似体験を取り入れている。また、臨床現場の生き活きとした実践と老年看護の展望を感じられるよう、老人看護専門看護師による講義を取り入れている。<br>【ゲストスピーカー：老人看護専門看護師 1 人】                                                                 |
| ①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等<br>老年看護援助論（2 単位）2 年後期                                                                                                                                                                        |
| ②内容・ねらい<br>高齢者に多い身体疾患、特に食と排泄、運動器と活動、認知機能障害を取り上げ、看護に必要な知識を強化する内容である。                                                                                                                                               |
| ③講義・演習・実験・実習運営上の工夫<br>臨床で遭遇する状況を取り入れたり、授業内容をもとに思考力を高めるためのグループワークを取り入れたりして、老年看護に必要な知識を修得できるようにしている。                                                                                                                |
| ①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等<br>セルフケア支援論（2 単位）2 年後期                                                                                                                                                                       |
| ②内容・ねらい<br>セルフケア支援の概念、慢性疾患とともに生活する患者の健康障害を理解し、患者がセルフケアを継続できるような看護について学ぶ内容である。                                                                                                                                     |
| ③講義・演習・実験・実習運営上の工夫<br>グループワークを取り入れたり、問いかけを行ったりしながら、学生が主体的に学べるように工夫している。慢性疾患の看護ではなく、『セルフケア』とは何かを常に意識しながら看護を検討できるような投げかけを行っている。                                                                                     |
| ①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等<br>老年看護援助演習（1 単位）3 年前期                                                                                                                                                                       |
| ②内容・ねらい<br>これまで学んできた知識をさらに強化し、使える知識にするための演習、看護過程の展開、模擬患者への実践を行う内容である。                                                                                                                                             |
| ③講義・演習・実験・実習運営上の工夫<br>看護過程の展開を行う中で、立案した計画を実施する機会を設け、一連の過程を実習前に経験できるようにしている。認知症看護認定看護師 3 人に模擬認知症高齢者を演じてもらっている。学生は緊張する環境で立案した看護計画の実施を行い、思い通りにいかない体験などをした後、認知症看護の専門家とグループごとに討議をすることで、柔軟な発想ができるようにしている。<br>【模擬患者 3 人】 |

|                                                                                                                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等<br>セルフケア支援演習（1 単位）3 年前期                                                                                                                                                   |
| ②内容・ねらい<br>基本的な知識を活用し、壮年期と老年期の患者を対象とした看護過程の展開を行う内容である。実習に直結する科目である。                                                                                                                            |
| ③講義・演習・実験・実習運営上の工夫<br>壮年期と老年期の患者を対象とすることで、看護の視点の違いに気づけるようにしている。また、実習につながるため、自分で調べて考えを表現し、他者の意見を取り入れながら考えを深めていけるようにグループワークを取り入れている。また、教員との討議ができる環境を作っている。                                       |
| ①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等<br>老年看護援助実習（2 単位）3 年後期                                                                                                                                                    |
| ②内容・ねらい<br>介護老人保健施設および介護老人福祉施設の計 4 か所で実習を行い、認知機能の低下した高齢者の希望をかなえるための看護について学習する。多職種が協働するなかで、看護師の果たす役割や老いを生きる高齢者への看護を考える内容である。                                                                    |
| ③講義・演習・実験・実習運営上の工夫<br>高齢者の希望に合わせて、高齢者の強みを活かした看護計画を立案できるように身体・生活・精神・社会を多面的に捉えられるよう問いかけを行っている。また、多職種カンファレンスなどへの参加、通所部門での実習を通して、多職種連携における看護の役割を考えられるようにしている。フィジカルアセスメントを取り入れることで、基本的な看護技術の向上も目指す。 |
| ①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等<br>セルフケア支援実習（2 単位）3 年後期                                                                                                                                                   |
| ②内容・ねらい<br>急性期病院に入院している患者（成人期～老年期）へのセルフケア支援を学ぶ内容である。単にセルフケア支援を行い看護過程の展開を行うだけでなく、自身の行った支援内容について振り返り、事前学習をした理論を使いながら実践の意味づけを行う。実践、振り返りを通して、セルフケア支援とは何かを考えていく内容である。                               |
| ③講義・演習・実験・実習運営上の工夫<br>実践の振り返りでは、事前学習の共有、個人ワーク、グループワーク、グループ討議を取り入れることで、セルフケア支援についての見方の広がりや支援を行うときに重要となる点について理解を深められるようにしている。                                                                    |
| ①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等<br>卒業研究（3 単位）4 年通年                                                                                                                                                        |
| ②内容・ねらい<br>学生のもっている疑問や関心をもとに研究課題を明確にしたうえで、倫理委員会への申請、調査研究を行い論文作成、発表を行うものである。                                                                                                                    |
| ③講義・演習・実験・実習運営上の工夫<br>複数の学生が異なる研究手法に取り組み、定期的に共有することで、研究方法に関する知識を深め、相互に学び合うことができるようにしている。                                                                                                       |
| ①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等<br>老年看護学特論（4 単位）修士課程 1 年前期                                                                                                                                                |
| ②内容・ねらい<br>身体機能の低下をもちながらも生き生きと生活する高齢者にとっての「老い」や「老年期を生きること」の意味を探究する。また、老化過程をたどりながらも生活の質を維持し、その人の望む生活を送ることを支える強みを活かした看護実践に必要な知識と技術を高める。                                                          |
| ③講義・演習・実験・実習運営上の工夫<br>学修した知識をもとに高齢者へのインタビューや健康状態の包括的アセスメントを行うことで、社会人の学生が、自分の看護を改めて振り返り、さらなる学習が必要であることに気づけるようにしている。また発表と討議を行うことで視野が広がるような投げかけを行っている。                                            |

|                                                                                                                          |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等<br>老年看護学演習（2 単位）修士課程 1 年後期                                                                          |
| ②内容・ねらい<br>身体機能の低下や複数の疾患を持ちながら、在宅、施設、病院で生活する高齢者とその家族の QOL を脅かす課題を発見し、研究疑問として取り上げ、課題の誘因や解決を妨げる要因をアセスメントし、研究疑問を解決する能力を高める。 |
| ③講義・演習・実験・実習運営上の工夫<br>臨床経験をもつ社会人学生が、日々の看護で感じている疑問をもとに研究課題への発展ができるように、討議を繰り返し行うようにしている。研究論文の読み方の指導も行っている。                 |
| ①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等<br>老年看護学特別研究（10 単位）修士課程 2 年通年                                                                       |
| ②内容・ねらい<br>修士論文の作成に向けて、文献検討、研究課題の明確化、研究計画書作成など看護研究の一連の過程を身につけるものである。                                                     |
| ③講義・演習・実験・実習運営上の工夫<br>研究者としての第一歩となるため、作成過程を丁寧にたどれるよう、時間をかけて指導を行っている。                                                     |
| (2)その他の教育活動                                                                                                              |
| 内容<br>敦賀市立看護大学非常勤講師：老年症候群援助論（1 単位）担当                                                                                     |

#### 4. 研究業績

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| (1)研究業績の公表                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |       |
| ①著書                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 【0 本】 |
| ②学術論文（査読あり）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 【0 本】 |
| ③その他論文（査読なし）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 【0 本】 |
| ④学会発表等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 【2 件】 |
| <p>1. 末期腎不全患者の緩和ケアに関する提言：CKM 実践における緩和ケアの問題点，第 70 回日本透析医学会学術集会総会，2025 年 6 月，小坂志保，服部智子，久米真代，松村直子，酒井謙，丹波嘉一郎</p> <p>2. シンポジウム神戸で語ろう 2【穏やかで円満な老後透析実現へ！考えるべき予防的視点】セルフケア継続のための認知症予防、重症化予防，第 28 回日本腎不全看護学会学術集会，2025 年 11 月，久米真代</p>                                                                                                                                                                                                                   |       |
| ⑤その他の公表実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 【1 本】 |
| <p>日刊県民福井 2025 年 9 月 22 日「高齢者の新たな趣味に 脳トレピアノで若返り」の記事内容へ、専門家としてのコメントを行い掲載された。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |       |
| (2)科研費等の競争的資金獲得実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |       |
| <p>【学外】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研究「一般病院に入院した認知症高齢者の生活機能低下予防プログラム構築に向けた基礎研究」（令和 3 年～令和 7 年）</li> <li>・ 科学研究費補助金 基盤研究（C）一般「疾患の回復過程にある認知症高齢者に対する日常倫理に基づく生活援助」（分担研究者）（主任研究者：渡辺陽子）（令和 5 年～令和 8 年）</li> </ul> <p>【学内】</p> <p>なし</p>                                                                                                                                                                    |       |
| (3)特許等取得                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |       |
| (4)学会活動等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本腎不全看護学会 編集委員会 委員</li> <li>・ 日本腎不全看護学会 編集委員会 査読セミナー運営委員</li> <li>・ 日本腎不全看護学会 研究委員会・編集委員会 セミナー2「私もできる腎不全看護研究！みんなで話して、研究の種を育もう」ファシリテーター</li> <li>・ 日本腎不全看護学会 研究委員会・編集委員会 研究・投稿なんでもお気軽相談コーナー、相談員</li> <li>・ 腎臓リハビリテーションガイドライン 査読委員（日本腎不全看護学会編集委員会の業務）</li> <li>・ 日本看護学会—在宅看護—論文選考委員</li> <li>・ 日本透析医学会「末期腎不全患者の緩和ケアに関する提言」CKM 実践における緩和ケアの問題点 研究協力委員</li> <li>・ コ・メディカル形態機能学会第 23 回学術集会 実行委員</li> </ul> |       |

## 5. 地域・社会貢献活動

|                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①-2 委員就任（県）福井県介護保険審査会委員，介護保険の審査を行う，令和 7 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日                                          |
| ①-2 委員就任（県）福井県社会福祉審議会臨時委員，社会福祉法に基づく社会福祉の関する事項を調査審議する，令和 7 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日                        |
| ③レビー小体型認知症スマイルグループ石川 代表（レビー小体型認知症の当事者およびご家族、支援者が相互に理解し合い、悩みを解決する場の運営 2016 年から現在に至る）                          |
| ⑤令和 7 年度保健師助産師看護師実習指導者講習会 講師（公益社団法人福井県看護協会、講義および指導案作成のオリエンテーション、指導案の発表会での総評、2025 年 8 月 5 日、8 月 6 日、8 月 29 日） |
| ⑦北陸技術交流テクノフェア 2025 へ出展（10 月 29 日、30 日）                                                                       |
|                                                                                                              |

## 6. 大学運営への参画

|                                             |
|---------------------------------------------|
| (1)補職                                       |
|                                             |
| (2)委員会・チーム活動                                |
| ・カリキュラム検討委員会（2024 年 4 月～）委員長<br>・論集編集委員会 委員 |
| (3)学内行事への参加                                 |
| ・入試説明会（若狭高校，7 月 8 日）<br>・オープンキャンパス（8 月 3 日） |
| (4)その他、自発的活動など                              |
| 介護老人福祉施設アニス松岡 アニス祭 ボランティア（10 月 5 日）         |
|                                             |